

令和 2 年 度 着 手

坂井西部地区 農業用排水施設事業 変更計画概要書
〔 県 営 経 営 体 育 成 基 盤 整 備 事 業 （ 土 地 総 ） 〕

（ 令和 7 年 度 第 1 回 変 更 ）

事 業 主 体 福 井 県

令和2年度着手 県営土地改良事業 坂井西部地区（農業用排水施設（経営体育成基盤整備（土地総））事業）

変 更 理 由 書

I. 変更の内容

1. 事業施工に係る地域の変更

(1) 地積		(単位：ha)		
市町村名／地目		田	畑	計
(〃) 坂井市：坂井町折戸、坂井町下兵庫	変更前	70.0	—	70.0
	変更後	70.0	—	70.0
	増・減	—	—	—

2. 主要工事計画の変更

(1) 計画受益面積		(単位：ha)				
項 目		田	畑	その他		計
農業用排水施設	変更前	70.0	—	—		70.0
	変更後	70.0	—	—		70.0
増・減		—	—	—		—

(2) 事業費		(単位：千円)		
区 分	変更前	変更後	増・減	備 考
用水路工	757,000	1,185,000	428,000	
測量試験費	55,900	29,000	△ 26,900	
用地及び補償費	—	1,000	1,000	
総事業費	812,900	1,215,000	402,100	

変更前 令和元年度価格
変更後 令和7年度価格

内 訳		
自 然 増		106,000
工 法 変 更		296,100
事業量変更		
計		402,100

(3) 工事予定期間

	(〃)
着 工	令和 2 年度
	(9)
完了予定	令和 10 年度

Ⅱ．計画変更を必要とする理由

1．主要工事計画の変更

【主たる変更理由】

アーム柵から排水フリュームによる更新を計画していたが、客土工の増工に伴い、ほ場の大区画化が図られることから農地集積や転作作物の連担化を促進させるため、管排水に整備することによって増工したい。

労務単価等の改定、建設資材の高騰にかかる増額が自然増分を大きく上回っており、これに係る事業費を増としたい。

農業用排水施設

(単位：千円)

工法変更

- ・ 労務単価等の改定、建設資材の高騰にかかる増額が自然増分を大きく上回っており、これに係る事業費を増としたい。 N=1.0式 322,000
- ・ 当初計画はアーム柵から排水フリュームによる更新を計画していたが、客土工の増工に伴い、ほ場の大区画化が図られることから農地集積や転作作物の連担化を促進させるため、管排水に整備することによって工法変更したい。
- ・ 管排水の埋戻材について、当初計画は他事業の建設発生土を受け入れる計画であったが、工事間調整が困難であったため、福井港湾の浚渫砂の積込・運搬を増工したい。

測量試験費

- ・ 工法変更に伴い、測量試験費を減としたい。 N=1.0式 △ 26,900

用地買収補償費

- ・ 詳細設計の結果、用地買収費および物件移転（電柱等）補償費を増としたい。 N=1.0式 1,000

【自然増】

106,000

合計 402,100

2．事業費変更の理由

項 目	増 減
自 然 増	106,000 千円
工 法 変 更	296,100 千円
事業量変更	0 千円
計	402,100 千円

第1章 目 的

変 更 な し

本地区の排水路は、昭和55年から昭和62年にかけて かんがい排水事業・排水対策特別型 小樋地区 で整備されているが、整備後約40年が経過している。本地区の排水路は、アーム柵渠で整備されているが、経年変化に伴う柵板のズレや傾き、損傷・欠損等の劣化・変状、河床洗掘や背面土の吸出しにより、施設の維持管理に多大な労力を費やしている状況である。

これらの状況は、担い手への農地利用集積が進み経営規模の拡大が進んでいる中、更なる農地集積、合理的な農業経営を図るうえで大きな妨げとなっている。

よって、本事業で排水施設を更新することにより、施設の機能回復や維持管理の省力化を図り、安定的かつ持続的な低コスト化農業の構築を目指すとともに、担い手による農地利用集積および高収益作物の拡大に取り組む。

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地 域

変 更 な し

坂井市 ： 坂井町折戸、坂井町下兵庫

地係

第2節 地 積

変 更 な し

市町村名	事業名 地 目						備 考
	田 (ha)	畑 (ha)	樹 園 地 (ha)	非農用地 (ha)	道水路敷 (ha)	計 (ha)	
(") 坂 井 市	(") 70.0	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 70.0	
計	(") 70.0	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 70.0	

第3節 現 況

1. 気 象

変 更 な し

観 測 所 名	三 国 観 測 所	かん が い 期	非かん が い 期	計または平均 (年 間)
観 測 期 間	H 18 ～ H 27	5 月 ～ 9 月	1 0 月 ～ 4 月	
平 均 気 温 (℃)		22.2	8.5	14.2
平 均 降 水 量 (mm)		910	1,236	2,146
平 均 降 水 日 数 (日)		51	119	170
根 雪 期 間		1 2 月 ～ 3 月		日 間
無 霜 期 間		4 月 ～ 1 1 月		日 間
最 多 風 向	SSE (5 ～ 8 月)	最 大 風 速		25.8 m/ s

2. 地 形 地 質

変 更 な し

本地区は地盤標高1.5～2.5mの低い平野地域、主傾斜1／5000の九頭竜川沿いに広がる農地で、地質は沖積世非固結堆積物からなる。

3. 水 利 状 況

変 更 な し

地区の排水は兵庫川もしくは九頭竜川に排水されている。現況の排水路はアーム柵水路であり、土砂吸出しによる維持管理費の増大が生じている状況である。

4. 営 農 状 況

変 更 な し

本地区は水稻主体の営農を行っており、転作作物として、大麦、大豆、そばを作付けしている。また近年は、高収益作物であるネギ、ブロッコリー等を作付けしている状況である。

また、地区の農業は、生産法人3組織、集落営農5組織、認定農業者7名および個別農家で営農しており、農地集積率は87.3%と高い集積率の地区であるが、土地改良施設の老朽化が著しく、維持管理コストおよび労力の増大、排水管理労力の増大により農業経営を圧迫している状況である。

よって、本事業を契機に将来的には、生産法人3組織、集落営農5組織を中心にさらに農地集積を促進していきたい。

5. 地域環境の概略

変 更 な し

本地区には、キタノメダカ、オオタニシ、イシガイ、イチョウウキゴケ、ウスゲチョウジタデ、ミズマツバ等の希少な動植物が確認されている。また、西に県下最大の一級河川九頭竜川、東に一級河川兵庫川の流域に広がる農地であり、豊かな自然環境を形成している。

第3章 基本計画

第1節 計画の要旨

1. 要 旨

変 更 な し

本事業により、老朽化した農業用排水施設を更新することで、通水阻害による排水能力の低下を解消するとともに、維持管理費の軽減を図り、生産性の高い農業の展開を目指すとともに、担い手への農地集積の加速化、農業経営の合理化を図り、本地域の農業競争力の強化を図る。

2. 事業別面積

土地利用区分 換地区	農 業 用 用 排 水 施 設					計 (ha)	備 考
	旧 田 (ha)	新規田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)			
(") 坂 井 市	(") —	(") —	(") 70.0	(") —		(") 70.0	
計	(") —	(") —	(") 70.0	(") —		(") 70.0	

第2節 営 農 計 画

変 更 な し

品質・価格の競争時代に対応するため、営農の合理化及び生産性の向上を図るとともに、担い手への農地集積の加速化、農業経営の合理化を図り、本地域の農業競争力の強化を目指す。

第3節 環境との調和への配慮

変 更 な し

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第4節 計画基本事項

1. 農業用排水施設事業

ア) 排水計画

変更なし

確 率 日 雨 量 - - - - $1/2 = 94.3 \text{ mm}$
 $1/10 = 145.1 \text{ mm}$

単 位 排 水 量 - - - - 4時間

$1/2$ 平地: 1.20 宅地: 2.14 山地: 2.14 $\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$
 $1/10$ 平地: 1.85 宅地: 3.29 山地: 3.29 $\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$

第4章 工事又は管理の要領

第1節 工事の内容

1. 農業用排水施設事業

(") (ポリダブル管 $L=4.9\text{km}$ 、HFフリーム $L=1.5\text{km}$)
ア) 排水路工 $L = 6.4 \text{ km}$ (ポリダブル管 $L=6.4\text{km}$)

第2節 予定工期

(") (令和 9 年)
令和 2 年 ~ 令和 10 年

第3節 管理の要領

変更なし

本事業により設置された農業用排水施設は、坂井土地改良区が管理する。

第5章 換地計画の要領
第1節 換地計画樹立の必要性

変 更 な し
該 当 な し

第2節 換地計画樹立の基本方針
1. 従前の土地の地積の基準

変 更 な し
該 当 な し

2. 農用地集団化の方法

変 更 な し
該 当 な し

区 分 換地区	地 帯 別 グ ル ー プ 別 団 地 の 設 定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 選 択	1 戸 当 た り 目 標 団 地 数	区 画 畦 畔 の 取 り 扱 い

3. 非農用地の換地方針

変 更 な し
該 当 な し

4. 清 算 の 方 法

変 更 な し
該 当 な し

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入に係る地積

変更なし
該当なし
単位:ha

用途 \ 区分	機能交換に係る土地				一般	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計	国有地	
計						

第4節 換地処分の特則

変更なし
該当なし

第6章 費用の概算

(令和元年度)
令和7年度価格(千円)

工 区	事業費	事務費	総事業費	備考
全 工 区	(812,900) 1,215,000	—	(812,900) 1,215,000	
計	(812,900) 1,215,000	—	(812,900) 1,215,000	

第7章 効 用

(令和元年度)
令和7年度価格(千円)

区 分	年 総 効 果 (便 益) 額	年 増 加 農 業 所 得 額	備 考
食料の安定供給の確保 に 関 する 効 果	(54,038) 57,312	(44,913) 48,264	
作 物 生 産 効 果	(3,053) 3,090	(") —	
営農経費節減効果	(51,171) 54,343	(43,610) 46,640	
維持管理費節減効果	(△ 186) △ 121	(1,303) 1,624	
農 業 の 持 続 的 発 展 に 関 する 効 果			
多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 する 効 果			
そ の 他 効 果	(415) 420	(") —	
国産農産物安定供給効果	(415) 420	(") —	
計	(54,453) 57,732	(44,913) 48,264	
			(1.24) 総費用総便益比： 1.19 (") 総所得償還率： - % (1.5) 増加所得償還率： 2.0 %

第8章 他の事業との関連

変 更 な し

該 当 事 項 な し

第9章 計画概要図

別 添 図 面 参 照

事業の負担区分の予定及び地元負担の予定基準

1 事業費の負担区分の予定

(812,900) (812,900)
 1) 総事業費 1,215,000 千円也 [事業費 1,215,000]
 (")
 千円也 [事務費 -]

2) 負担区分

(千円)

区 分		補 助 率	金 額	計
国 庫 補 助	事 業 費	(") 50.00 %	(4 0 6 , 4 5 0) 6 0 7 , 5 0 0	(4 0 6 , 4 5 0) 6 0 7 , 5 0 0
	事 務 費	(") — %	(")	
県 費	事 業 費	(") 30.00 %	(2 4 3 , 8 7 0) 3 6 4 , 5 0 0	(2 4 3 , 8 7 0) 3 6 4 , 5 0 0
	事 務 費	(") — %	(") —	
分 担 金	坂 井 市	事 業 費	(") 10.00 %	(8 1 , 2 9 0) 1 2 1 , 5 0 0
		事 務 費	(") — %	
		事 業 費	(") — %	(") —
		事 務 費	(") — %	
	地 元	事 業 費	(") 10.00 %	(8 1 , 2 9 0) 1 2 1 , 5 0 0
		事 務 費	(") — %	
計				(8 1 2 , 9 0 0) 1 , 2 1 5 , 0 0 0

2 地元負担の予定基準

該 当 事 項 な し

変 更 な し

3 負担団体

坂 井 市

坂 井 土 地 改 良 区

変 更 な し

一 定 地 域 調 書
(変更なし)

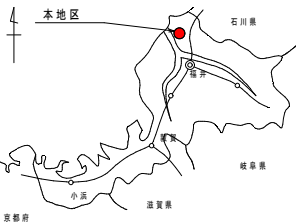
坂井西部地区

– 10 –

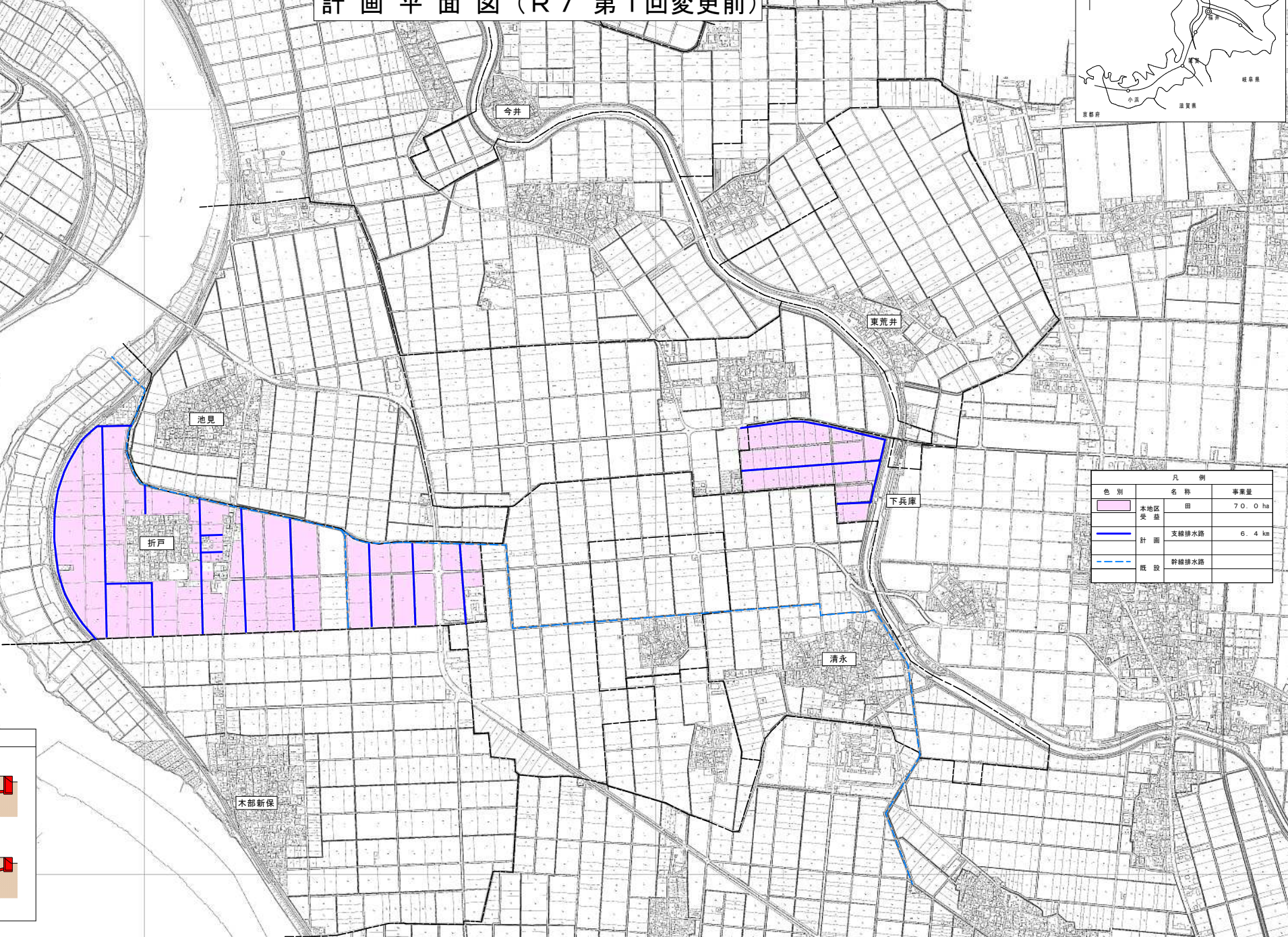
県営土地改良事業 坂井西部地区（農業用排水施設（経営体育成基盤整備（土地総））事業

計画平面図（R7 第1回変更前）

福井県位置図

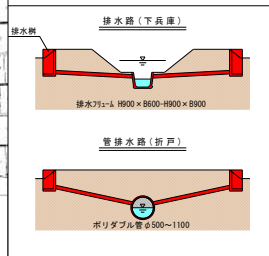


S=1:5000
0 100 200 300m



凡 例		
色 別	名 称	事業量
■	本地区受益	70.0 ha
—	計画	支線排水路 6.4 km
- - -	既設	幹線排水路

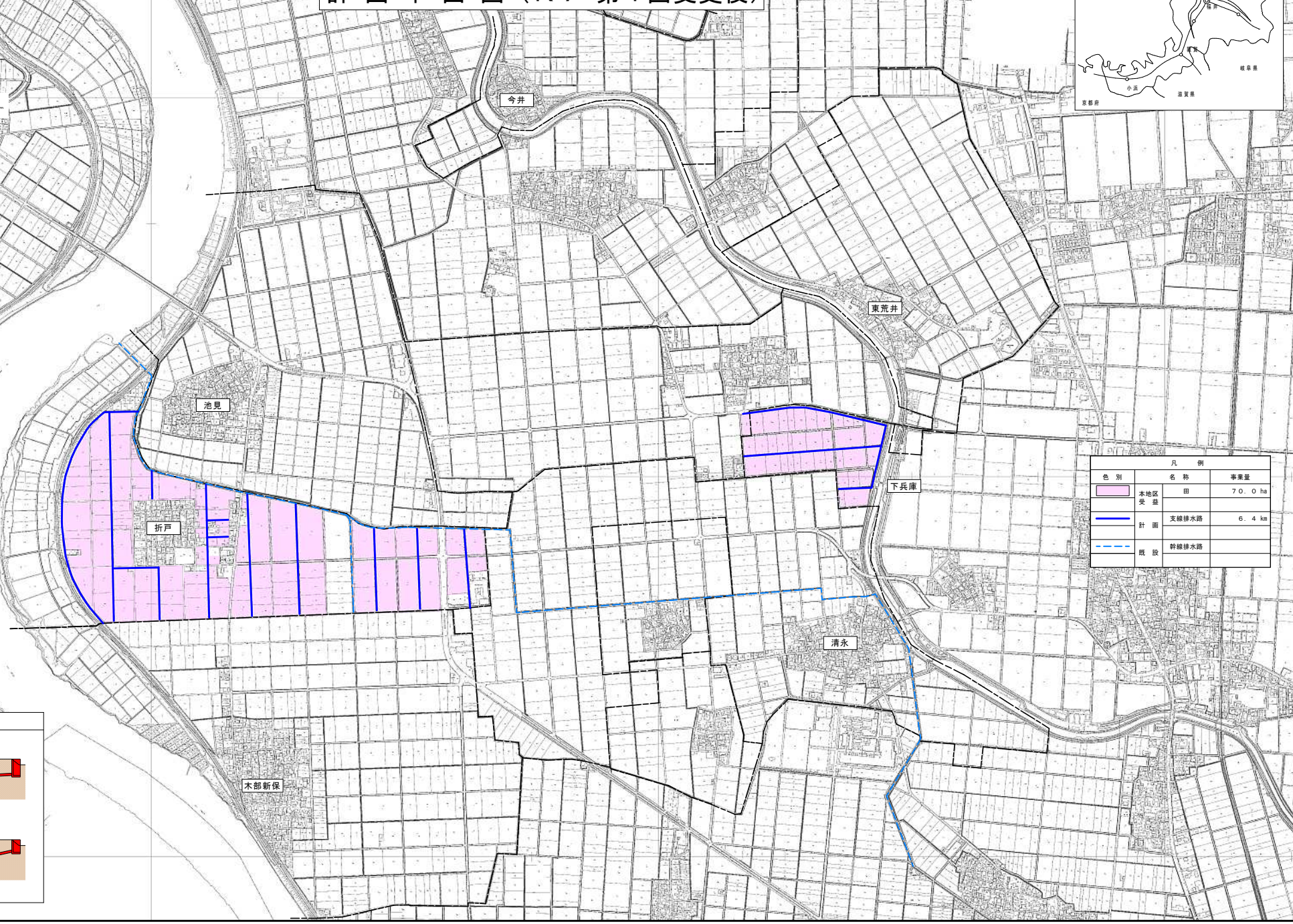
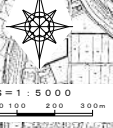
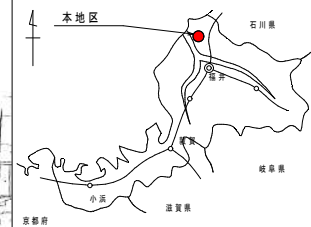
標準断面図



県営土地改良事業 坂井西部地区（農業用排水施設（経営体育成基盤整備（土地総））事業

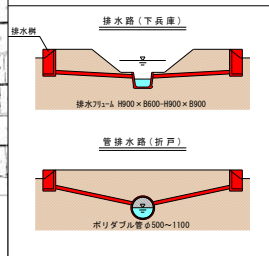
計画平面図（R7 第1回変更後）

福井県位置図



色別	名称	事業量
ピンク	本地区受益田	70.0 ha
青線	計画支線排水路	6.4 km
赤線	既設幹線排水路	

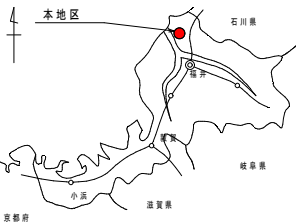
標準断面図



県営土地改良事業 坂井西部地区（農業用排水施設（経営体育成基盤整備（土地総））事業

変更説明図（R7 第1回変更）

福井県位置図



【工法変更】

- ・労務単価等の改定、建設資材の高騰にかかる増額が自然増分を大きく上回っており、これに係る事業費を増とした。
- ・当初計画はアーム橋から排水フリーダムによる更新を計画していたが、客土工の増工に伴い、ほ場の大区画化が図られることから農地集積や転作作物の連作化を促進させるため、管排水に整備することによって工法変更した。
- ・管排水の埋戻材について、当初計画は他事業の建設発生土を受け入れる計画であったが、工事間調整が困難であったため、福井港湾の炭灰砂の積込・運搬を増工した。

変更理由凡例		
事 変 増		
事 変 減		
工 法 変 更		

凡 例		
色 別	名 称	事業量
	本地区受益	70.0 ha
	計画	支線排水路 6.4 km
	既設	幹線排水路

